

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[14]テレフタル酸ジメチル	<p><b>【大気】</b></p> <pre> graph LR     A[大気] --&gt; B[捕集 Empore Disk C18F 10L/分×24時間]     B --&gt; C[溶出<sup>注1</sup> アセトン 10mL]     D[内標準添加 テレフタル酸ジメチル-d4 20μg/mL 1μL<sup>注1</sup>] --&gt; C     C --&gt; E[濃縮 窒素パーズ 0.2mLまで<sup>注1</sup>]     E --&gt; F[GC/MS-SIM<sup>注1</sup>]   </pre> <p>&lt;注&gt;次に示す方法を採用した例もあった。  1:大気の捕集をEmpore Disk C18で行い、溶出を超音波洗浄機により行い(アセトン10mL、10分間)、2500rpmで10分間遠心分離を行い、5mLを分取した。窒素パーズによる濃縮を0.5mLまで行った。内標準物質の添加はその後に行い、添加量は5ngとした。また、測定機器としてGCはHP6890、MSはMAT95XLを使用し、GC/HRMS-SIM-EIで測定した。  2:測定機器としてGCはTrace GC 2000、MSはTrace MSを使用した。</p> <p style="text-align: right;">「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p>&lt;分析原理&gt; GC/MS-SIM<sup>注1</sup></p> <p>&lt;検出下限値&gt; 【大気】 (ng/m<sup>3</sup>) [14] 0.012</p> <p>&lt;分析条件&gt; 機器<sup>注1 注2</sup> GCMS-QP2010 カラム DB-17 30m×0.25mm、0.25μm</p>